別紙

群馬県有林高付加価値クレジット創出業務における非炭素プレミアム価値の一例

●群馬県の非炭素プレミアム価値

・公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構が公表した 2025 年移住希望地ランキングにおいて、窓口相談部門で全国 1 位（2 年連続)、セミナー参加部門で全国 1 位（3 年連続）を獲得。移住者数は、平成 26 年度の 124 人から令和 6 年度の 1,560 人となり、約 10 年間で 10 倍以上に増加し、過去最高を更新している。このことから、群馬県は首都圏近郊でありながら豊かな自然資本を有し、近年は移住先として高い評価を受けているといえる。

⇒本事業により赤城山地区の森林整備を促進することは、群馬県の観光・移住・地域創生基盤を支える取組である。

●群馬県の森林の非炭素プレミアム価値

・群馬県は利根川水系の上流域に位置し、首都圏約 3,000 万人の水源を支えている。群馬県全体の森林面積は約 42 万 7,000ha で、県土の約 67%を森林が占める「関東一の森林県」である。

・森林は雨水を蓄え、洪水を緩和し、安定的な水供給を行う役割を持っている。群馬県内の森林の持つ貯水機能は約 12 億トン（県内 9 つのダムの合計貯水量の約 2 倍)、水源涵養機能の評価額は約 4,800 億円と試算されている。

・群馬県の森林は、首都圏最大の水源地帯を形成するとともに、尾瀬や上毛三山に代表される豊かな自然景観、多様な生物相及び災害防止機能を有している。

⇒本事業により群馬県の森林整備を促進することは、首都圏の水源を涵養し、災害防止等の安全を支える取組である。

●赤城山の非炭素プレミアム価値

・赤城山は、黒檜山（くろびやま)、駒ケ岳、地蔵岳、荒山、鍋割山、鈴ヶ岳、長七郎山などからなる山々の総称であり、そのうち黒檜山（1828m）が赤城山の最高峰。榛名山、妙義山と並んで上毛三山の一つとして県民に親しまれているほか、赤城山は日本百名山及び新・花の百名山、黒檜山と地蔵岳は花の百名山に選出されている。

・赤城山は、カルデラ湖である大沼や大沼湖畔に建つ赤城神社、「小さな尾瀬」と呼ばれる高層湿原である覚満淵等の豊かな自然を有している。首都圏からのアクセス性にも優れていることから、四季折々の景色が楽しめる人気スポットとして年間を通して観光客が訪れている（年間来訪者数約 120 万人)。

・対象森林は、それらの自然観光エリアに向かう道中に面しており、赤城山の観光資源の一

つでもある山頂からの森林景観を形成している。また、県有林整備パートナー事業により企業と協同して森林整備に取り組んでいる地域でもある。

・赤城山南麓は、排水性に優れた火山灰土壌により野菜栽培に適しており、群馬県有数の農業地帯となっている。

⇒本事業により赤城山地区の森林整備を促進することは、森林・林業分野のみならず、農業や観光を始めとした赤城山周辺及び流域全体の地域経済への貢献につながる取組である。